

政策シート 政策名 08 緑化推進・緑地保全

予算費目名 01 緑化推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	④ 教育	⑤ ジェンダー	⑥ 水・衛生	⑧ 成長・雇用	⑨ インノベーション	⑪ 都市	⑫ 生産・消費	⑭ 海洋資源	⑮ 陸上資源
⑬ 平和	⑰ 実施手段								

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	883,277	597,005	512,976			
決算	848,420	575,491				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	141,400	128,200	121,200			
年間経費(予算又は決算+A+B)	989,820	703,691	634,176			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
フラワーパーク入園者数	人	目標	490,000	500,000	470,000	470,000	470,000	470,000
		実績	460,286	351,176				
花づくりに関連するボランティア参加者数	人	目標	13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	11,003	7,318				
保全が担保される緑地の面積	ha	目標	165	180	195	210	225	240
		実績	84	84				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている

- ・館山寺総合公園運営事業については、新型コロナウイルスの影響もあり、浜名湖花フェスタを中止にするなど、花の最盛期に閉園を余儀なくされ、入園者数が大きく減少することになった。そのような状況下でも、園の魅力度アップのため、魅力ある施設整備など努めるなど、質の高い管理運営を継続した。
- ・花づくりに関連するボランティアの参加人数も新型コロナウイルスの影響で、イベントそのものが中止となったり、対策を講じる中で人数制限をかけるなど、昨年に比べ参加者数は減少している。
- ・緑地保全を市民協働で進めるために、高林住吉市民の森保全・利活用協議会の運営を支援し主体的な活動を促すとともに、次の候補地である富塚川平地区では、アンケート調査を実施し、住民の意見を伺った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	緑化推進センター運営事業	—	—	—		46,024	40,064	0.8	0.1		
2	館山寺総合公園運営事業	○	○	○		297,148	279,648	2.5			
3	緑化推進事業	—	—	—	○						
4	花と緑のまち・浜松推進事業	—	—	—		99,894	75,734	3.0	0.1		1.0
5	緑地保全事業	—	—	—		55,540	33,420	2.8	0.7		
6	緑の基本計画策定事業	—	—	—	○						
7	市街化区域内農地緑化保全事業	—	—	—		15,484	9,884	0.8			
8	浜松城公園長期整備構想推進事業	—	○	○		69,353	67,253	0.3			
9	都市計画公園見直し事業	—	—	—		3,659	159	0.5			
10	花と緑の基金積立金	—	—	—		1,900	500	0.2			
11	緑化推進運営経費	—	—	—		45,174	6,314	5.1	0.1		1.0
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						634,176	512,976	16.0	1.0		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 緑化推進センター運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の“みどり”に関する意識の高揚、知識や技能を高める緑化活動拠点として、フラワーアレンジメント、生垣の作り方、剪定の仕方などの各種講座を開催し、緑の普及啓発活動を行う。また、県内唯一の都市緑化植物園として緑の相談所を開設し、質の高い市民サービスの提供を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S53	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費		⑤ジェンダー						
事業とゴールの関連性		・31の見本園を活用した専門的な相談から入門編の講習・相談など、誰でもみどりを愉しめる施設として提供する。また、園内利用者が、緑の必要性を感じられ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つ場を提供する。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	40,628	46,580	40,064			
	決算	40,007	46,421				
	国・県支出		112				
	市債						
	その他	657	668	619			
	一般財源	39,350	45,641	39,445			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,180	5,260	5,960			
人工	正規	0.7	0.7	0.8			
	再任用(h31)		0.1	0.1			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					
年間経費(予算又は決算+A+B)		45,187	51,681	46,024			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
講座・講習会への参加人数(人) ※イベント、即売会を除く			目標	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000
			実績	5,017	3,895				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 01 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
- ・緑の相談所において、樹木や花苗の育成管理や病害虫の駆除など緑化に関する相談に応じる。
- ・「みどりの夏まつり」「落ち葉まつり」などのイベントを市民協働で行うことにより交流を深め、緑化推進拠点の充実を図る。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 遅れている

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、「みどりの夏まつり」や各種講座の中止せざるを得ない状況となった。しかし、通常の樹木管理をはじめ、「秋の落ち葉まつり」や各種講座について、出来ることから取り組み、来園者に緑の場の提供に寄与した。
- ・都市緑化植物園の機能として「緑の相談所」の機能は、相談件数が例年より多く、ホームページの刷新と共に情報発信を積極的におこなった。
- ・管理棟の大規模改修の計画策定や園内施設の老朽箇所の改修を進めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、三密対策に取り組む必要が生じた。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 情報発信 / 改修・更新 事業費 現状 人工 現状

- ・新型コロナの感染状況を踏まえ、各種イベントを選択しながら感染症対策を実施したうえで開催し、浜松の緑化推進拠点として、情報発信と利用者目線に立った花みどりの空間の提供に努めた。
- ・施設の老朽化については、施設利用者等の要望を踏まえ、長期展望のもと対応策を検討した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 改修・更新 事業費 現状 人工 現状

- ・令和4年度から令和8年度(5年間)を指定管理期間に設定した、指定管理者の募集。
- ・平成29年度から豊岡苗圃の機能(樹木交付)を緑化推進センターに集約させ統合することで、新たな指定管理期間における緑化推進の拠点機能を強化する(令和元年度交付数2,016本(風致地区2,016本、緑地協定0本)、令和2年度交付数2,660本(風致地区2,660本、緑地協定0本))。
- ・施設全体の再生計画を検討し老朽箇所の改修と樹木の伐採剪定を行う。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能なイベントを市民協働で開催することにより交流を深め、緑化推進拠点としての充実を図る。
- ・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行う。
- ・コロナ禍における癒しの空間としても、魅力ある園を来園者に提供し、31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
- ・緑の相談所において、樹木や花苗の育成管理や病害虫の駆除など緑化に関する相談に応じる。
- ・水辺を利用した環境学習を通してみどりの大切さを広める。
- ・風致地区内住宅生垣用苗木及び緑地協定区域樹木等の交付を行う。

事業シート (事業名) 02 館山寺総合公園運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

花と緑をテーマとした観光拠点として、来園者に対しおもてなしの空間を演出する。また、フラワーパークと動物園を一体的に管理するなど、効率化に向けた改善を行い、将来まで持続できる施設運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H25	—	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-2(2)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	167						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費		⑤ジェンダー		⑧成長・雇用	
事業とゴールの関連性		<ul style="list-style-type: none"> ・浜名湖観光圏の中核となる施設として観光業の集客に貢献している中で、雇用創出、花みどり文化振興・産品販促に繋がる政策を立てる。 ・花の聖地として、花みどり文化を国内外を問わず多くの人々に提供する。 				

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	638,508	358,843	279,648			
	決算	612,366	349,319				
	国・県支出	202,800	150,628	56,820			
	市債	227,000					
	その他	34,369	30,712	86,342			
	一般財源	148,197	167,979	136,486			
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		21,700	18,200	17,500			
人工	正規	3.1	2.6	2.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		634,066	367,519	297,148			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
フラワーパーク入園者数(人)		167	目標	490,000	500,000	470,000	470,000	470,000	470,000
			実績	460,286	351,176				
観光交流客数(千人/年)	III-2(2)イ		目標	23,700	20,400	20,800	21,200	21,600	22,000
			実績	19,441	R3.10頃確定				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 02 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目№167】

- ・フラワーパークと動物園を一体的に管理し、効率的な運営と利用者サービスの向上に努める。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、施設のUD化や老朽化した施設の改修を適宜実施する。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 遅れている

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、園の最盛期に休園をせざるを得ない状況となった。しかし、休園中も植物の維持管理は継続し、更に休園中の園内の様子をSNS等を利用した情報発信を続けた結果、再開後は、前年度を来場者数を数える月もあった。新型コロナの感染状況を踏まえ、各種イベントを選択しながら感染症対策を実施したうえで開催し、フラワー・イルミネーションを開催するなど、魅力ある花と緑の空間の提供をした。来園者数は目標値へは届かず、〇〇万人にとどまった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルスの感染拡大や近県への緊急事態宣言の発令など、他の観光施設同様大きな打撃を受けた。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 情報発信 / 改修・更新 事業費 現状 人工 現状

- ・新型コロナの感染状況を踏まえ、各種イベントを選択しながら感染症対策を実施したうえで開催し、魅力ある花と緑の空間の提供をした。
- ・来園者が安全で快適に過ごせるようUDとして舗装の改修、休憩小屋の新設を行った。
- ・UD昇降機のネーミングライツパートナーからの、財源の確保ができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 委託・指定管理 事業費 現状 人工 現状

- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能なイベントを開催し集客に努める。
- ・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行う。
- ・NEXT50としてのイベントを開催し、花の聖地として国内外にアピールする。
- ・コロナ禍における癒しの空間としても、魅力ある園を来園者に提供する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目№167】

- ・指定管理更新を機に、フラワーパークと動物園の更なる効率的な運営と利用者サービスの向上に努める。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施し、来園者に安心して利用できる施設として魅力ある花と緑の空間を提供する。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」、「癒し」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、施設のUD化や老朽化した施設の改修を適宜実施する。
- ・次の50年に向けたNEXT50事業としてイベントを開催し、花の聖地として国内外にアピールする。

事業シート

(事業名) 03 緑化推進事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

民間事業所に対し緑化を指導し、緑豊かなまちづくりを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S51	-	一般会計	自治事務	緑の保全及び育成条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		・大規模な事業所内の緑化を推進し、保全の維持継続をすることにより、持続可能な都市及び人間居住を実現し、自然と調和したライフスタイルの意識を持つようにする。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算						
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,480	4,560				
人工	正規	0.6	0.6				
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					
年間経費(予算又は決算+A+B)		4,480	4,560				

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
事業所緑化指導数(件/年)			目標	80	80	80	80	80	80
			実績	69	65				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 03 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民との協働で進める「花とみどりのまちづくり」において、事業者自らが緑化に取り組もうとする契機として推進を後押しする啓発の意味を持ち、有効な取組みとして指導していく。
- ・事業所等緑化協議 65件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

浜松市都市計画マスタープランの改定に伴い、都市全体にわたるコンパクトでメリハリのある土地利用等を推進するため、浜松市都市機能誘導方針(仮称)等の策定作業が進められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業所等敷地内緑化指導については、平成27年度見直した要綱(主に緑地率の規制を緩和したもの)に基づき緑地緑化指導をした。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

ゼロ予算のため緑化推進運営経費へ移行。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	08	01	002155000	04	緑政課	廣野 浩之	R3.7.1

事業シート (事業名) 04 花と緑のまち・浜松推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「花と緑の祭」などのイベントの開催やボランティア団体への支援を通じて花と緑に親しむ市民を増やし、「花と緑のまち・浜松」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S31		一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		・公共空間への花飾りや花ボランティアの育成を通じ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つことができる。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	77,733	73,761	75,734			
	決算	75,090	67,115				
	国・県支出						
	市債						
	その他	1	65,646	5,511			
	一般財源	75,089	1,469	70,223			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		28,700	24,160	24,160			
人工	正規	3.7	3.0	3.0			
	再任用(h31)		0.1	0.1			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		103,790	91,275	99,894			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
花づくりに関連するボランティア参加者数(人)			目標	13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
			実績	11,003	7,318				
企業展示花壇設置数(対象箇所に対する企業展示割合%)			目標	50	50	50	50	50	50
			実績	49	54				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 04 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャー展示物を適正に維持管理するとともに、モザイクカルチャーに関連した市民制作講座を開催する。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「花と緑の祭」や「鍛冶町通り植替え作業」など、多くのボランティア参加イベントの中止や縮小を余儀なくされた。しかし、「花と緑のコンクール」の開催、浜松駅前等拠点花壇整備、モザイクカルチャーによるシンボル装飾などを通じて、花と緑にふれあう機会の創出を図ることにより、市民の花と緑への造詣を深めることができています。また、各種支援を行うことにより、花の会や市民団体、企業展示花壇等を通じて、市民協働による「花と緑のまち」が推進されている。コロナの影響で、花と緑に関するボランティアの活動機会は減少し、目標値には届かなかった。各ボランティア団体の共通の問題として、高齢化に伴う活動の縮小などが挙げられる。
- ・企業展示花壇については、新たに参加した企業数が増え、管理41花壇のうち22花壇となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルスの影響により、「花と緑の祭」の中止や、ボランティア活動の縮小に伴う参加者数の減がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、感染症対策を実施したうえで可能な活動は開催し、花と緑のまち・浜松の普及啓発を実施した。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動が推進できた。
- ・企業展示花壇は、積極的な声掛けにより参加企業が増えた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・沿道、公共施設への園芸資材交付の申請数、申請額ともに増加しているが、申請に対し8割程度の交付を実施している。花と緑のまちを推進するためには協働の取り組みが重要であり、市民活動団体から求められる資材を適切に交付できるよう、交付対象などの検討を今後も継続して行う。
- ・まちなかにある拠点花壇のエリアを再検討し、事業の効率化を図る。
- ・企業展示花壇の協力企業をさらに増加させる。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能なイベントを市民協働で開催することにより、花と緑のまち・浜松の推進を図る。
- ・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャー展示物を適正に維持管理する。

事業シート (事業名) 05 緑地保全事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

特別緑地保全地区や市民の森、保存樹・保存樹林を指定するとともに、協働により適正に維持管理することで、都市部における貴重な緑を次代に引き継ぐ。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S52		一般会計	自治事務	都市計画法、静岡県立自然公園条例、緑の保全及び育成条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費			⑥水・衛生					
			⑮陸上資源						
事業とゴールの関連性		<ul style="list-style-type: none"> 緑地の保全や自然公園等の保護を通じ、生態系の保護・回復を行い、森林をはじめとする陸域生態系を持続可能にするとともに、生物多様性の損失を阻止する。 緑地を適切に保全することで、自然災害に対するレジエンスの強化に寄与する。 							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	33,815	32,392	33,420			
	決算	31,158	30,852				
	国・県支出						
	市債						
	その他	107	120				
	一般財源	31,051	30,732	33,420			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		26,740	26,320	22,120			
人工	正規	3.5	3.4	2.8			
	再任用(h31)		0.7	0.7			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8					
年間経費(予算又は決算+A+B)		57,898	57,172	55,540			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
保全が担保される緑地の面積(ha)			目標	165	180	195	210	225	240
			実績	84	84				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	08	01	002155000	05	緑政課	廣野 浩之	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・保存樹・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・保存樹・保存樹林のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者(管理者)の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・市民協働による維持管理活動を安全・安心に実施するため、活動の対象となる市民の森において境界の現況測量を行う。
- ・市民の森では、保全計画書に基づいた市民活動の積極的な展開を促すとともに、高林住吉市民の森においては、平成30年度に設立した「高林住吉市民の森 保全・利活用協議会」の活動を活性化し、組織運営のサポートを実施する
- ・市内の「市民の森」を有効利用した自由な企画事業を募り、市民協働の手法により積極的な市民活動を担う市民団体の掘り起こしや人材育成を図る。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、市民協働による自然環境の適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

環境の基盤・骨格を形成する緑地については、緑地の存続、永続性の担保を図るため、平成27年9月に緑地保全の優先順位付けと保全の方法を定めた、「地域制緑地指定及び見直し計画」を策定して、市民協働を取り入れた市民の森の保全や風致地区の方針(案)の道筋を示した。

優先地区 Aランク地区(富塚小藪 11.7ha、高林住吉 8.3ha、富塚西小周辺 11.2ha、幸・曳馬 1.6ha、富塚東 3.7ha、和合・富塚 3.0ha、富塚北 1.1ha、遠州山野辺の道 191.8ha)

<緑地指定状況:R2年度末>

景観重要樹木 1本、保存樹 55本、保存樹林 77箇所42.6ha、市民の森 35.0ha、特別緑地保全地区 6.7ha

- ・市民の森及び保存樹林などの指定はほぼ横ばいが続き、指標となる面積は変更なし。
- ・市民協働による保全は、計画初期段階において人材育成に時間を要するため、計画より遅れている。
- ・先行モデルとなる高林住吉地区の動向によっては目標計画を変更する必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナウィルス感染拡大により、市民協働による保全方針作成のため、予定していたワークショップ等の活動で実施できないものがあつた。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民の森や保存樹・保存樹林の所有者の維持管理に対し報償金を交付した。
- ・市民協働による保全の先行モデルとして平成30年度に設立した、高林住吉市民の森保全・利活用協議会の運営を支援し主体的な活動を促した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・高林住吉地区では、平成30年度に設立した協議会の自主的な保全活動のための課題解決に取り組む。
- ・高林住吉地区のみならず、他地区の市民の森においても市民協働による保全活動を推進する。
- ・ナラ枯れによる被害が深刻化しているため、被害状況を把握し対応する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・保存樹・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・保存樹・保存樹林のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・市民協働による樹林地の維持管理活動を安全・安心に実施するため、活動の対象となる市民の森において境界の現況測量を行う。
- ・高林住吉市民の森では、保全計画書に基づいた市民活動の積極的な展開を促すとともに、平成30年度に設立した「高林住吉市民の森 保全・利活用協議会」の活動を活性化し、組織運営のサポートを実施する
- ・市内の「市民の森」を有効利用した自由な企画事業を募り、市民協働の手法により積極的な市民活動を担う市民団体の掘り起こしや人材育成を図る。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、協働による自然環境の適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。

事業シート

(事業名) 06 緑の基本計画策定事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市の緑の将来像、目標、施策などを定めることにより、緑地の保全及び緑化の推進を総合的、計画的に実施する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H29	R2	一般会計	自治事務	都市緑地法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	④教育	⑧成長・雇用
	⑭海洋資源 ⑮陸上資源	⑰実施手段
事業とゴールの関連性	緑の基本計画は、みどりによってまちづくりの課題解決を目指し、持続的に発展する都市の実現に貢献する計画であり、計画したプロジェクトや推進プログラムを実施することにより、まちづくりや環境、教育、産業、雇用等に繋げる	

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	6,313	4,422				
	決算	6,298	3,289				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	6,298	3,289				
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	8,400	6,300				
人工	正規	1.2	0.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		14,698	9,589				

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
「緑の基本計画」の策定			目標	計画案作成	パゾコム、推進プログラム			-	-
			実績	計画案作成	パゾコム、推進プログラム				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 03 08 01 002155000 06 緑政課 廣野 浩之 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・次期計画(案)を作成し、パブリックコメントを実施する。
- ・市民フォーラムの実施を経て次期基本計画の公表を行う。
- ・公表時期は、上位計画である都市計画マスタープランに合わせる。
- ・推進プログラムを作成する。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・パブリックコメントを実施し、市の考え方を公表した。
- ・次期基本計画を策定し、PR動画の作成・公開を経て公表を行った。
- ・推進プログラムを作成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

次期緑の基本計画の策定が完了したため、事業を終了する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

ゼロ予算のため緑化推進運営経費へ移行。

事業シート (事業名) 07 市街化区域内農地緑化保全事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

都市部の貴重な緑のオープンスペースとして機能している市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地地区の指定や特定市民農園(いきいき菜園)の維持・運営を行う。なお、本事業は、市街化区域内農地の宅地並み課税に対する支援策として始めた。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H19	—	一般会計	自治事務	生産緑地法、市民農園整備法、市民農園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	②飢餓								
①都市	②生産・消費								
事業とゴールの関連性		<ul style="list-style-type: none"> 生産緑地地区や特定市民農園を事業継続し、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供することで、人間居住を実現する。 特定市民農園を市民が利用することで、持続可能な生産消費形態の確保に寄与する。 							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	9,082	9,256	9,884			
	決算	8,749	8,933				
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,640	1,780	1,919			
	一般財源	7,109	7,153	7,965			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,300	7,000	5,600			
人工	正規	0.9	1.0	0.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,049	15,933	15,484			

3 事業の指標の状況 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
市街化区域内の農地に対する生産緑地地区と市民農園の割合(%)			目標	13	16	19	23	26	30
			実績	6	6				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 07 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・市街化区域内の農地を生産緑地地区として指定し、現地の保全の状況を確認する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として維持・運営し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭のできる野菜栽培講座を開催する。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 遅れている

<特定市民農園の設置>市街化区域内の中学校区に概ね1箇所 計25箇所を目標として開設する。

- ・H20 4箇所(楊子 篠原 三ヶ日 文丘) 70区画 4,672㎡
- ・H21 4箇所(入野 小豆餅 染地台 鴨江)52区画 4,081㎡
- ・H22 3箇所(北島、楊子第二、横須賀)40区画 3,244㎡
- ・H23 北島の区画増設 15区画 総計177区画 11,997㎡
- ・H26 北島の区画増設 1区画 総計178区画 12,286㎡

<菜園栽培講座>12回開催

<生産緑地の指定状況> 137箇所 16.59ha

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・「宅地化すべきもの」から「あるべきもの」へと都市農地に対する国の方針が転換された。
- ・市街化区域内農地の減少傾向が続いている。
- ・未経験の規模の自然災害が増加している。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 その他 / その他 事業費 現状 人工 現状

- ・特定市民農園(いきいき菜園)を利用者に開放するとともに、食や緑に関する講座を充実し、市民農園の魅力を高めた。
- ・生産緑地地区として指定した農地が適正に営農されているか確認した。
- ・生産緑地地区の規制緩和を行い、指定要件を500㎡から300㎡以下とする条例制定を行った。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 情報発信 / 人材育成 事業費 現状 人工 現状

- ・開設11箇所のうち小豆餅菜園については令和3年度末の閉園が決定した。その他の農園は、農地所有者と市が20年間の使用貸借契約を結んでいる。また、空き区画が存在する農園もあるため、空き区画を減らすための検討を行っていく。
- ・生産緑地法等の改正に伴い指定面積要件を緩和する条例を制定したため、農地所有者に指定申し出を促すことにより、市街化区域内農地の保全を推進する。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・市街化区域内の農地を生産緑地地区として指定し、現地の保全の状況を確認する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として維持・運営し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭のできる野菜栽培講座を開催する。

事業シート (事業名) 08 浜松城公園長期整備構想推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

平成26年2月に策定・公表している浜松城公園長期整備構想に基づき、埋蔵文化財包蔵地である旧元城小学校跡地と駐車場エリアについて遺構調査を行い、その調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R1	R5	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	169						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑧成長・雇用
事業とゴールの 関連性	遺構調査を行い、発見された遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりに繋げることで新たな観光資源として持続可能な観光業の促進につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	62,241	57,733	67,253			
	決算	60,642	56,205				
	国・県支出		27,335	32,542			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	60,642	28,870	34,711			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100			
人工	正規	0.3	0.3	0.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		62,742	58,305	69,353			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
浜松城跡(元城小跡地)の発掘調査の進捗率(%)		169	目標	25	50	75	100		
			実績	25	50				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 08 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.169】

- 旧元城小学校全域に幅2mの調査溝を約20m間隔で格子状に配置し遺構の残存状況を確認する。
- 礎石や瓦溜まりが想定される部分において、面的な補足調査区を設定して精度の向上を図る。
 - ・石垣・堀跡詳細確認調査区 幅5m×全長20m=100㎡
 - ・二の丸御殿等詳細確認調査区 ①残存状況確認 幅2m、10m間隔の格子状 約1200㎡
②遺構詳細把握等の部分的な平面調査 200㎡程度
- ・調査面積 合計1500㎡
- 一般を対象とした現地説明会を実施
- 一般を対象とした公開発掘を実施



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

浜松城に関わる痕跡が残存している部分があることを確認

- ・本丸を囲む堀と石垣を検出
- ・御誕生場の形状と遺構を確認
- ・二の丸の建物基礎を検出

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和2年度は、国の地方創生推進交付金の対象事業に採択され、財源の2分の1を確保した。
- ・令和元年度確認調査により残存している部分があることが判明した二の丸御殿等の残存状態や構造を詳細に確認するため確認調査を実施した

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松城公園長期整備構想に基づき、引き続き旧元城小跡地の遺構調査を実施する。
- ・令和3年度は前2ヶ年の調査成果により確認された遺構の掘削調査を実施する。
- ・今後、調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。
- ・現地調査4年、整理作業1年の5年計画で実施予定



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.169】

- 現地調査4年計画のうちの3年目にあたる令和3年度は、令和元・2年度調査により遺構の残存が確認できた地点において、遺構の内容把握(範囲、構造、時期等)及び残存状況の確認が行えていない二の丸北東部の蔵推定地における遺構の残存状況の確認を行う。
 - ・本丸北東部石垣、二の丸御殿跡(礎石・柱穴等)、二の丸北東部の堀跡、城内通路、二の丸北東部の蔵に関わる痕跡(基礎構造、瓦集積、区画溝、排水溝等)等
 - ・調査面積 1150㎡
- 令和4年度以降も前年度までの調査結果を踏まえ、遺構の残存状況や規模、形態、時期の詳細を明らかにするため確認調査を実施する。

事業シート (事業名) 09 都市計画公園見直し事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

人口減少の将来を見据えて、長期未着手の都市計画公園区域を見直し、都市計画法上の規制を取り除く。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H23	—	一般会計	自治事務	都市計画法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									⑨イノベーション
事業とゴールの 関連性	都市計画決定をしている都市計画公園の見直しを行い、整備プログラムに従い計画的に整備し、公共スペースの提供につなげる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	6,823	3,504	159	0	0	0
	決算	6,644	3,490				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	6,644	3,490	159			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	3,500	3,500	0	0	0
人工	正規	1.0	0.5	0.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,644	6,990	3,659	0	0	0

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
都市計画公園等の変更(減少)面積 (ha)			目標	110	1	1	6		156
			実績	111	0				
0			目標	0					0
			実績	0					
0			目標	0					0
			実績	0					
0			目標	0					0
			実績	0					
			目標	0					0
			実績	0					

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 09 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」により見直し対応とした30箇所の公園緑地のうち、手続きが終わっていない4箇所の公園について、条件が整い次第、都市計画変更手続きを進める。
- ・他都市計画施設との整合を図るため、都市計画の変更手続きが必要となる公園について、都市計画の変更手続きを進めるため都市計画決定図書の作成業務を行う。
- ・旧浜松市以外の都市計画公園区域図の電子化業務を行う。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・令和2年度は、手続きを保留している4箇所の公園について、条件が整わないため手続き保留を継続した。
- ・他都市計画施設との整合を図るため、都市計画の変更手続きが必要となる公園について、都市計画決定図書の作成を行った。
- ・旧浜松市以外の都市計画公園区域図の電子化業務を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・人口減少の将来を見据えた見直し

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和2年度は、手続きを保留している4箇所の公園について、条件が整わないため手続き保留を継続した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」により見直し対応とした30箇所の公園緑地のうち、手続きが終わっていない4箇所の公園について、令和3年度以降に随時都市計画変更手続きを進めると共に、手続きが完了できなかった公園等の今後の取り扱いについて検討する。また、他都市計画施設との整合を図るため、都市計画の変更手続きが必要となる公園等についても、条件が整い次第、変更手続きを行う。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」により見直し対応とした30箇所の公園緑地のうち、手続きが終わっていない4箇所の公園について、条件が整い次第、都市計画変更手続きを進める。
- ・他都市計画施設との整合を図るため、都市計画の変更手続きが必要となる公園について、都市計画の変更手続きを進める。
- ・都市計画の変更に向けた地元説明会を開催する。

(管理番号)									
令和3年度	分野 03	基本政策 03	政策 08	予算費目 01	所属コード 002155000	事業 10	(担当課) 緑政課	(責任者) 廣野 浩之	(基準日) R3.7.1

事業シート (事業名) 10 花と緑の基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てるとともに、その原資を活用して緑地の保全と緑化の推進を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S62	-	一般会計	自治事務	花と緑の基金条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市				⑥水・衛生				
				⑮陸上資源				
事業とゴールの 関連性	基金運用益を活用し、樹木交付事業などによる緑地の保全及び緑化の推進を行うことで生態系の保護・回復を行い、水と衛生の持続可能な管理を確保する。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	500	500	500			
	決算	234	414				
	国・県支出						
	市債						
	その他	234	414	500			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400			
人工	正規	0.2	0.2	0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,634	1,814	1,900			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
花と緑の基金に寄せられた寄附金 (千円)			目標	500	500	500	500	500	1000
			実績	234	414				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 10 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・「花と緑の基金」の趣旨に賛同した市民から寄せられた寄附金を積み立てる。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・令和2年度は、個人からの寄附が2件寄せられ、前年度を上回る金額を積み立てることができたが、目標には及ばなかった。
・大口の寄付に頼ることなく、多くの寄付金を集める手法を検討する必要があるが、現状では募金箱の設置箇所を増やす程度の対策になっている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・基金を適正に管理した。
・令和2年度末残高＝169,934,792円
(256,474,852円《令和元年度末残高》+ 414,100円《令和2年度寄附合計》－ 86,954,160円《令和2年度取崩し》)

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・継続して基金を適正に管理する。
・基金の活用を積極的に進めるため、条例改正により処分対象となった事業への計画的な充当を検討する。
・令和3年度は、フラワーパークにおける新規事業のほか、モザイクカルチャー推進事業に充当するため基金の取り崩しを行う。(8,719,000円)



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。

事業シート (事業名) 11 緑化推進運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・緑政課の一般事務に要する経費。
 ・浜松市緑の基本計画の目指す姿及び基本目標を実現するため、推進体制を構築し、市民協働によりみどりに関する施策・事業の実施に取り組む。
 ・民間事業所に対し緑化を指導し、緑豊かなまちづくりを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S51	-	一般会計	自治事務	都市緑地法、緑の保全及び育成条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育			⑧成長・雇用	
⑪都市	⑫生産・消費		⑭海洋資源	⑮陸上資源		⑯平和	
事業とゴールの関連性	緑の基本計画における推進プログラムの実施により、まちづくりの課題解決を目指し、持続的に発展する都市の実現に貢献する。また、大規模な事業所内の緑化を推進し、持続可能な都市及び自然と調和したライフスタイルの実現を目指す。						

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	7,634	10,014	6,314			
	決算	7,232	9,453				
	国・県支出						
	市債						
	その他	5	28	661			
	一般財源	7,227	9,425	5,653			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		29,400	29,400	38,860			
人工	正規	3.8	3.8	5.1			
	再任用(h31)			0.1			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		36,632	38,853	45,174			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
「緑の基本計画」推進体制の構築			目標			榆しみ方PR HP開設	総合窓口設置 アドバイザー配置	カンワ制度 運用開始	指定管理者 制度活用
			実績						
事業所緑化指導数(件/年)			目標	80	80	80	80	80	80
			実績	69	65				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 08 予算費目 01 所属コード 002155000 事業 11 (担当課) 緑政課 (責任者) 廣野 浩之 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 一部廃止 / 条例・要綱等 事業費 現状 人工 現状

- ・緑の基本計画は、令和2年度末に策定作業を終え、公表した浜松市緑の基本計画に基づき、計画の推進を図っていく。
- ・緑化に関する社会状況や浜松市都市機能誘導方針(仮称)等を考慮し、緑化基準を適宜見直していく。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



- 浜松市緑の基本計画を推進するため、推進体制の構築を行う。
- ・令和3年度は、みどり生活のゆしみ方を市民や事業者へ広くPRする準備として、市ホームページ上に専用ページを開設し、基本計画に基づき取り組む制度や緑に関する情報発信を行うとともに、ソーシャルメディアを活用した情報発信にも取り組む。また、推進体制の構築にあたっては、庁内関係課や民間団体等とも調整を行う。
- ・令和4年度以降は、みどり生活を応援する総合窓口の設置や、みどり生活を後押しする組織として外部へのアドバイザー・コーディネーターの配置、公園における指定管理者制度へのエリアマネジメントの視点の導入等の実施に向けた検討を行う。
- 工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。